

補綴物の装着時にKaVo ソニックフレックス チップ No.12セムチップを使用し、振動を与えることで、セメント*の流動性が増し、確実なシーティングが可能になる。なお、セメントは加熱されたコンポジットレジンを使用。酸素を遮断し、最終重合を行う。



終わりに、筆者にとってKaVo社製品はなくてはならないものになっている。再治療のない治療のためには、修復治療、根管治療、補綴治療、外科治療、予防治療の全てのステップにおいて精密な処置が必要であるのいうまでもないが、KaVo社製品を用いることでそれらを的確かつスムーズに行うことができる。

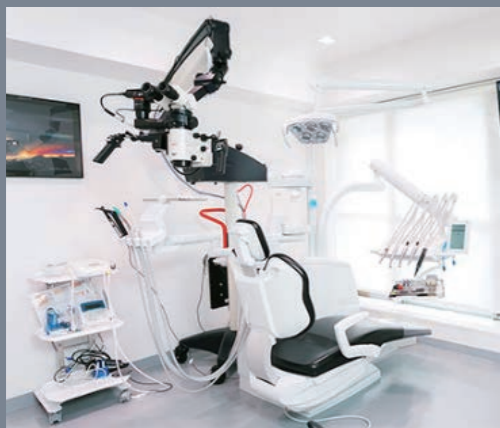
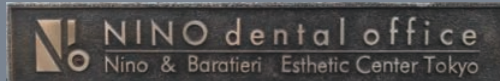


3か月リコール時

*当院では術者の責任のもと、充填用コンポジットレジン加熱したものをセメントとして使用している。

販売名:ソニックフレックスエアースケーラー 2008 クイック 一般的名称:歯科用エアースケーラー 認証番号:224AIBZX00059000 管理医療機器・特定保守管理医療機器
 販売名:カボ プロフィーフレックス3 一般的名称:能動型機器接続歯面清掃器具 認証番号:21900BZX0015100 管理医療機器
 販売名:プロフィーパール 一般的名称:歯面研磨材 届出番号:27B1X00039000011 一般医療機器
 販売名:ロンドフレックス プラス 360 一般的名称:歯科用噴射式切削器 認証番号:21500BZY003900000 管理医療機器・特定保守管理医療機器
 販売名:ソニックフィル 一般的名称:歯科用空気駆動式ハンドピース 承認番号:22500BZX00518000 管理医療機器・特定保守管理医療機器
 販売名:ソニックフィル レジン 一般的名称:歯科充填用コンポジットレジン 認証番号:225ADBZX00082000 管理医療機器

Customer Information



ニノデンタルオフィス

〒150-0001
 東京都渋谷区神宮前4-17-16 エリキサ表参道2F
 TEL:03-6447-1928
<http://www.ninodental.com>

院長 二宮 佑介
 略歴 2004年 日本大学松戸歯学部 卒業
 2011年 Bio-Emulation Groupの正式メンバーとなる
 2017年 表参道にてニノデンタルオフィス開設
 所属 Bio-Emulation

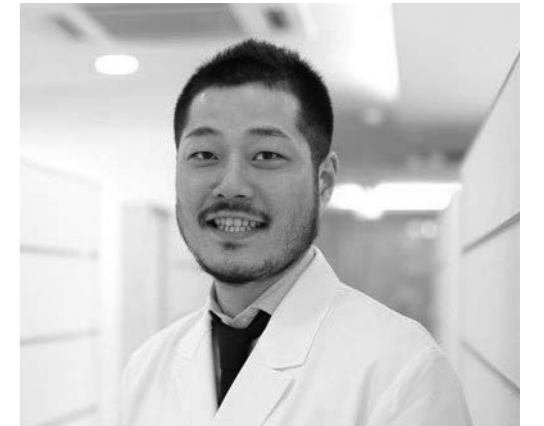


カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
 札幌支店: Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店: Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
 東京支店: Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 名古屋支店: Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567
 大阪支店: Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451 福岡支店: Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844
<http://www.kavo.jp>
 VIOBJB1810V2 INS-080

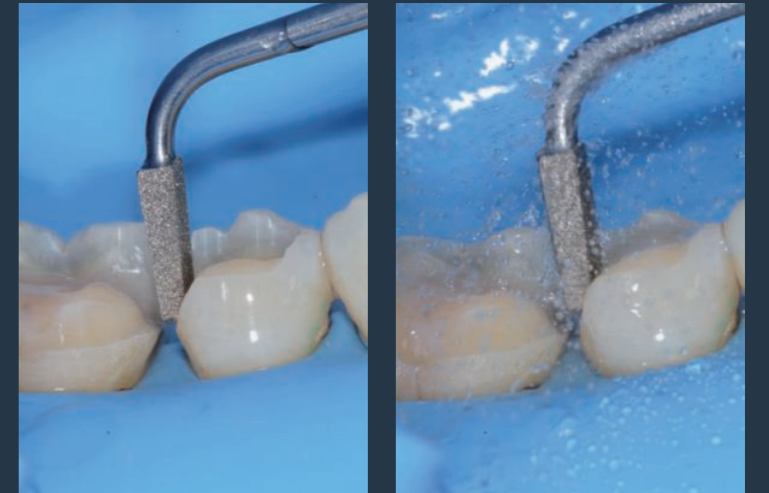
当院における KaVo 製品の活用法

ニノデンタルオフィス
 院長 二宮 佑介



当院では、トリートメントユニットからインスツルメントまで歯科治療に必要な様々な機器や設備はKaVo社の製品を使用している。再治療の必要のない治療を実践するにあたり、KaVo社製品は筆者にとって必要不可欠となっている。

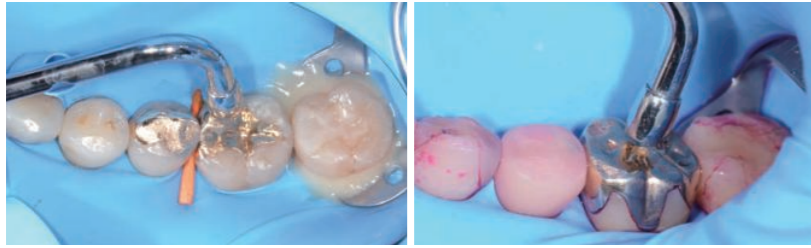
今回、筆者の日常臨床におけるKaVo社製品の活用方法について、その一部を紹介する。



術前処理における使用

Decontamination of surfaces

術前に治療部位のAir polishingは必須である。KaVo プロフィーフレックス3を使用することで、この後の治療ステップを確実に行うことができる。



窩洞形成時における使用

様々な形態のチップを使い分けることにより、隣接歯及び軟組織の損傷を防ぐことができる。また、各種チップは補綴物のマテリアルの適した形態を具備している。

歯肉縁下の作業でも、出血を伴わずマージンの仕上げを行うことができる。



KaVo ソニックフレックス チップ No.51 プレップセラムを使用



KaVo ソニックフレックス チップ No.98 プレップクラウンを使用

歯面処理における使用

補綴物装着前の窩洞前処理にKaVo ロンドフレックス プラスを使用。これにより、接着面の清掃及び粗造が行うことができる。筆者は27 μ mのAl₂O₃ (酸化アルミニウム)を使用し、歯面を粗造化させることで接着力を向上させている。なお、KaVo ロンドフレックス プラスを使用する際は、軟組織及び隣接歯の保護が必須である。



KaVo ロンドフレックス プラス使用時に、隣在歯保護のためメタルマトリックスを使用

補綴物装着時での使用

KaVo ソニックフレックス チップNo.12セムを使用することでセメント*の流動性が増し、確実なシーティングを得ることが可能となる。



症例を通して一連の流れを説明する

患者は24、25の歯間部にフロスが通りにくいことを主訴に来院した。25の修復物不適合、26、27のCRの劣化が認められた。筆者は窩洞形成時にもKaVo ソニックフレックス エアスケラーを積極的に活用している。回転切削器具では難しい隣接面のアプローチも振動切削器具を応用することで片側だけの窩洞形成を隣在歯を傷つけることなく、安全に確実にすることができる。窩洞形成後は、印象・咬合採得を行い、装着のステップに入っていく。

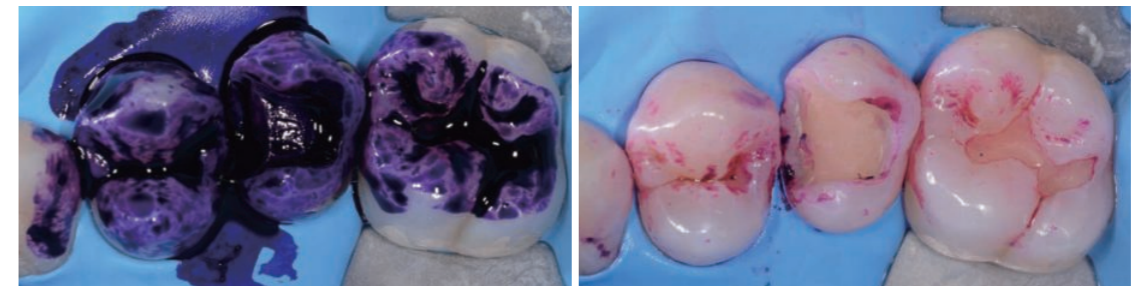


術前咬合面観 (ミラー像)

不良修復物及びう蝕を除去後、IDS (immediate dentin sealing) 及びソニックフィル (Kerr) を使用しbuild upを行う。その後、ソニックフレックスチップNo.51 プレップセラムを用いて窩洞形成を行った。



修復物装着時、rubber dam isolationを行い、確実な接着操作を行っていく。プロビジョナルレストレーションを外し、治療部位をプラーク染め出し液で染色する。水洗後の状態、窩洞内が汚染されていることがわかる。



KaVo プロフィーフレックス3とプロフィーパールを使用して隣在歯を清掃後、KaVo ロンドフレックス プラスを使用し、接着面の処理 (サンドブラस्टリング) を行った。なお、窩洞内の象牙質はIDSを行っているため、象牙質に対する影響はない。前処理を行い、修復物の装着に入っていく。その後、通法通り歯面処理を行う。

